

第1学年3組 国語科学習指導案

平成20年2月6日(水)第3校時

授業者 教諭

1 題材名 ちがいをかんがえてよもう「どうぶつの赤ちゃん」

2 題材の目標

- ・説明的文章に興味をもって読むことができる。(関心・意欲・態度)
- ・ライオンとしまうまの赤ちゃんについて、どんなことが、どのように書かれているかを読みとることができる。(読むイ)
- ・いろいろな動物に興味をもって調べ、書いて友達に知らせることができる。(書くイエ)

3 題材について

- ・ライオンとしまうまは、生まれたときの大きさや母親とにているかどうかなどの点で、驚くほど違っている。さらに、ライオンは、成長した姿と赤ちゃんの時の様子が異なる。その発見や驚きを取り上げながら、楽しく読み進められる説明文である。
- ・問題提起の文とそれに対する答えの文が展開されており、構成がはっきりしている。ライオンとしまうまの赤ちゃんの、生まれたばかりの様子と大きくなる様子の二つの視点から、対比しながら、わかりやすく説明されている。他の動物について調べたことを書くときには、同じ構成で対比しながら参考にすることができる。作文教材として扱うこともできる説明文である。

4 児童について

男子15名、女子17名、計32名。個性溢れる児童がたくさんいる学級である。
好きな動物は、うさぎ(5名)、ハムスター(5名)、犬(4名)、モルモット(4名)、馬(3名)その他である。本などで詳しく調べたい動物は、パンダ(6名)、ハムスター(4名)、チーター(4名)、くま(3名)その他であった。これらの動物の本をできるだけ用意し、楽しみな図鑑作りの参考にさせていきたい。
国語科の「話す・聞く」の領域では、全体として、発表が好きである。けれども、よく発表はするが声の小さい児童、しっかり聞いてはいるが挙手しない児童がいる。全員が話をつないで挙手ができるように、聞くときは「まなざしで聞く」と、話すときは「伝わるように」と毎日繰り返してきた。これからはグループで話し合う学習を少しずつ取り入れていこうと思う段階である。「読み」と「書き」領域では、関心意欲と深い関係がある。今までワークシートやノートを使って視写中心に進めてきた。個人差が大きく、書く活動は、大変時間がかかる児童たちである。

5 指導について

- ・対比の視点をはっきりさせることで、内容や肯定否定の表現を対比的にとらえながら、読み進ませたい。絵と本文の関係を想像させたり、実物の大きさを示したりして、赤ちゃんの特徴をつかみやすいように工夫したい。
- ・児童は、クイズが大好きである。前単元「わたしはだれでしょう」でのクイズ作りをうけて、本単元でも楽しい動物クイズを取り入れて書かせたい。問題とその答えを相手意識をもってクイズにして書かせ、内容を理解させる。答えとしての動物の赤ちゃんの成長の様子を資料から読み取って文を書いていき、楽しい動物図鑑作りにしたい。
- ・また、パターン化された教科書の文型を暗唱できるくらいよく読ませてからでないと、書く活動は難しい。それでも、好きで調べたい動物の赤ちゃんの成長の様子を、友だちに知らせる目的意識をもって書くのは、児童にとって、とても楽しみな学習である。思いをふくらませた図鑑作りにするために、読書指導と関連づけ、参考図書を用意して調べた動物についてたくさん書かせたい。

6 指導計画(11時間配当)(本時2/11)

時	学習内容	ねらい	関	聞	話	読	書	言	評価規準
1	知っていることを発表する。範読を聞く。初発の感想を発表する。	動物の赤ちゃんに関心をもって読むことができる。	◎	○	○	○			動物の赤ちゃんに関心をもって読んでいる。(発表)
	学習の目当てをもつ。		○						

2 (本時)	ライオンとしまうまの赤ちゃんについてまとめる。	ライオンとしまうまの赤ちゃんについてくらべながら、読みとったことをまとめることができる。	◎	◎	◎	○	○	ライオンとしまうまの赤ちゃんについて、整理して書いている。 (ワークシート)
3 4 5	感想や考えたことを発表する。	感想や考えたことを書いたり発表したりできる。						自分の感想と友達の感想をくらべて聞いている。(発表)
6 7 8 9 10	動物の本を読む グループ内でクイズを作り、答えを確かめる。 図鑑作りをする。	動物の本を読み、本の中からクイズの答えをさがすことができる。 図鑑にまとめることができる。	◎	○	○	◎	◎	本を調べて図鑑づくりをしている。 (ワークシート)
11	発表会をする。 感想を発表する。	友達の発表を聞いて、感想を伝えることができる。	◎	◎	◎			自分の図鑑と比べながら発表を聞いている。 (発表)

7 本時の目標

ライオンの赤ちゃんの生まれたばかりの様子を読み取ることができる。

8 準備物 実物大紙 動物図鑑 ワークシート

9 本時の学習過程

学 習 活 動	支援 (・) と評価 (☆)
<p>○本時の目当てをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ライオンの赤ちゃんは、生まれたばかりのときは、どんなようすをしているのでしょうか。</p> </div> <p>○大人のライオンについて知っていることを発表し合う。 ○書いてある部分を音読する。</p> <p>○教科書の文章から分かったことを発表する。 からだの大きさ 子ねこぐらい 目や耳 とじたまま おかあさんとにているか よわよわしい うごきかた おかあさんに、口にくわえてはこんでもらう</p> <p>同じ筆者の図書館の本を紹介し、付け加える。 一度に生まれる赤ちゃんの数 2～6頭 おかあさんがいないとき 茂みにかくれて待つ いっしょにいるとき 赤ちゃんの体をなめる</p> <p>○ワークシートにまとめて書く。</p> <p>○ライオンの赤ちゃんについて感想を書く。 おどろいたこと、かんがえたこと</p> <p>○発表する。</p> <p>○次時の学習予告</p>	<p>・前時の問題提起の文を掲示しておく。</p> <p>・ゆっくり大きな声で読む</p> <p>・「大きさ」「目や耳」「おかあさんににているか」「うごきかた」の観点をはっきりさせてまとめる。</p> <p>・大きさを想像できない児童のために、実物大のおかあさんライオンと赤ちゃんライオンの大きさの紙を用意する。</p> <p>・クイズ形式で問題と答えをまとめる。</p> <p>☆まとめて書くことができたか。 (ワークシート・・・読む)</p> <p>☆短くても自分の思いを文にして書くことができたか。 (発表・・・関・意・態)</p> <p>・友達と同じような感想でも自分の書いたのを「～さんとにいますが・・・」と発表させる。</p>